



「くるみん」の活用方法、取得のメリット



平成27年6月26日現在

企業名	活用方法	メリット
株式会社あわしま堂	自社Webサイトでの掲示。名刺への掲載。採用活動時のPR。	企業価値の向上。採用活動において会社のPRになり、育児等の支援に積極的である企業として学生から認知され、応募者の増加につながる。
芙蓉海運株式会社	会社のウェブサイトや名刺に表示、また採用時に提示することで自社の子育てサポート姿勢を広く知っていただくことで、優れた人材の方々に関心をもってもらうよう努める。	少子化、労働人口の減少の中で、優れた人材を確保できることを期待。社内のスタッフに安心して仕事に取り組んでもらえることを期待。
第一印刷株式会社	会社のホームページや名刺にくるみんマークを表示し、社内外に対し、仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業であることを周知。社員相互が子育てサポートに対する意識を深め、子育てしながら働きやすい職場環境づくりへの取組を図っていく。	職場環境のハード面の整備と相まって「くるみんマーク」の認定により設備の税制優遇措置を受けることができた。また企業のイメージアップも図ることができ、二重のメリットを得ることができた。
医療法人財団慈強会	ホームページ、看護師採用パンフレットに記載。院内広報誌、院外向け広報誌に掲載し、くるみん取得をアピールする。	子育てをしながら働きやすい職場であることをアピールでき、人材の採用、確保、定着に有効
社会福祉法人福角会	ホームページや求人票、全職員へ配布する事務局だよりに掲載。また、就職説明会等で仕事と子育ての両立がしやすい職場環境であることをアピールし、1人でも多くの求職者が当法人に応募いただけるようにする。	法人のイメージアップ。今後、当法人へ就職を考えている方へのアピールができる。これから子育てをする職員や子育て中の職員が安心して働ける職場ということで、人事確保につながり、長く働いてもらうことが期待している。
SANPO株式会社	店内入り口やお手洗いなど数か所に掲示。	働くスタッフへの配慮や企業としての姿勢をお客様へアピールできる。
社会福祉法人御荘福祉施設協会	各事業所に認定通知書を掲示。毎月発行している機関誌やホームページに掲載し、働きやすい職場環境であることを地域にアピールする。また、名刺や求人書類に掲載し、優秀な人材確保につなげていく。	くるみんを取得することで、雇用環境整備の取り組みが目に見える形で職員に周知できた。また、子育て世代でも働きやすい職場であることをアピールできることにより、法人のイメージアップや、優秀な人材の採用・確保に期待している。
国立大学法人愛媛大学	ホームページへの掲載。職員公募時に求人書類に記載し、男女ともに働きやすい職場環境であることをアピールする。	くるみん取得により、「男女ともに働きがいがあり、働きやすい職場」「職員を大切にす職場」であることを学内外に発信でき、求人書類に記載することにより、優秀な人材の採用・確保などが期待できる。
星企画株式会社	自社の名刺など、印刷物に掲載。	働きがいや、働きやすい企業、社員を大切にす企業としてのイメージアップ。
株式会社伊予鉄高島屋	ホームページに掲載。総務部スタッフの名刺に掲載。採用時におけるアピール訴求。	企業イメージの向上。特に採用において優秀人材の応募者が増加。
医療法人補天会	施設内に掲示。今後は名刺や求人票に掲載する予定。	名刺や求人票にくるみんマークを掲載することで、働きやすい職場環境であることをアピールすることができる。
株式会社伊予銀行	企業レポートへの表示。	対外的なアピールのため。雇用環境整備の取り組みについて、従業員への周知度向上。
日本食研ホールディングス株式会社	ハローワークの求人票、(特定)社内文書に掲載。	社員に対し、会社の姿勢を示すことができる。
医療法人弘友会	社内広報誌やホームページに掲載。今後は外部への広報誌へも掲載する予定。	今後働きやすい職場をアピールすることで職員の確保につながることを期待している。
株式会社西条環境分析センター	ホームページに記載。封筒にくるみんマーク貼付。会社パンフレットに記載。	企業のイメージアップ。
株式会社ジェイコム	ホームページ、会社案内、チラシ等への活用。	女性が8割以上の環境にある職場なので、今後を担う女性が継続して仕事しやすい会社の体制を見てもらいやすくなった。
大進建設株式会社	自社のブログに掲載し、子育てサポート企業であることをアピール。今後はホームページへの表示や名刺への表示を検討したい。	地元密着型の中小企業、また女性の少ない職場でありながらも、子育てしながら働きやすい環境の整備に取り組んでいることを広くアピールできる。会社のイメージアップに大変有効だと思う。
株式会社よんやく	採用活動、ホームページへの掲載、名刺への掲載等。	学生に向けた当社の育児支援を表す指標として紹介させてもらい、会社のイメージアップになっていると思う。また、学生だけでなく、ホームページを見る全ての方に対して次世代育成支援に取り組む企業として、より良い印象を感じていただいていると思う。

企業名	活用方法	メリット
株式会社ケアジャパン	会社のホームページや名刺にくるみんなマークを表示し、仕事と子育ての両立支援に取り組んでいることをアピール。名刺には、「くるみんな」と「えひめ子育て応援企業」のマークを印字しているため、名刺を渡す際に、マークの説明をしている。	職員を採用する際、子育てしている方の場合、保育園とも法人契約して、送迎バスを事業所まで来てもらう、料金を安くする等の取り組みをして仕事との両立ができる職場環境づくりに努めているという説明をしている。このような環境づくりをしていることで、将来、出産しても安心して働ける職場ということで、採用となった方がいる。事業所内にテナントとして保育園を誘致することができるようになった。
株式会社ライフネット	現在は特に活用なし。今後求人や会社の広報活動に利用したい。	ノー残業デイの実施により、労働時間の短縮や、社内の制度を社員に周知する機会となった。
ペガサス運輸株式会社	社用封筒にくるみんなマークを印刷すると共に、ホームページへの掲載などで、社内外へアピール。	設備投資の割増償却ができること。
社会福祉法人聖風会	法人各事業所案内への掲載、名刺、封筒等へ印刷し、企業イメージアップのために使用。職員募集時に、子育て応援企業としての説明時に提示。	働きやすい職場のイメージを印象づけることに役立っている。
医療法人恕風会	認定を受けた旨の広報として、玄関掲示板へ案内、ホームページ、広報誌に掲載。	企業の子育て支援等の取り組み姿勢等のイメージアップにつながっている。ハローワークの求人票にくるみんなマークが付いており、不足しがちな職種等の募集につながっていると思う。
株式会社アスティス	名刺にくるみんなマークを印字し、社外へPR(HPへも掲載)。新卒採用活動でもくるみんなマーク取得を紹介。	社外(取引先・学生)からの反応がよい。社内の男性社員に、育児休業の取得を意識してもらえるようになった(取得後、2名の男性社員が育児取得)。
医療法人青峰会	くるみんなマークは、本部事務局、ホールに掲げている他、ホームページや広報誌(くらジャーナル)にも掲載。就職説明会等でもくるみんな取得をアピール。	くるみんな取得により、子育てしやすく働きやすい職場環境であることが周知され、南予地区では選んでいただける医療機関、介護施設となったように思う。
株式会社クック・チャム	新卒・中途採用における告知。HPでの告知。名刺に印字。	社外的には、商品や広告、求人広告に告知することによって、子育てサポート企業であることをアピールすることができ、企業イメージがアップする。雇用される従業員のモラルアップや優秀な社員の獲得へつながる。社内的には、男性の育児休暇がより取りやすくなる。ノー残業デイの実施が容易になる。
医療法人団仲会 奥島病院	院内でくるみんなを利用しサークル活動を行っている。子育て中の職員が中心になり、子育てと仕事の両立がしやすくなるための職場環境づくりについて要望・意見を出し合っている。親子で楽しめるレクリエーションなども行っている。	ハローワークの求人票及びホームページにくるみんなマークを掲載しており、次世代育成支援及び子育て支援の企業としてアピールできている。応募者もそのことを視野に入れて応募していることが多い。
大王製紙株式会社	名刺へのくるみんなマーク記載。社内報や当社内ネット等に掲載し、社員に対して、仕事と家庭の両立支援に取り組んでいることをアピール。採用広告に掲載し、応募者に対して、両立支援に取り組んでいる会社であることをアピール。	社員や採用活動時の応募者に対して、仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる会社であることをアピールできる。
医療法人佑心會 堀江病院	自社のホームページ、外来待合所にくるみんな取得を掲示。名刺にくるみんなマークを記載。看護師の求人票に、ワークライフバランスに取り組む、くるみんなを取得していることを明記。看護学校での就職説明会でくるみんな取得をアピール。	労働環境の改善の一助となる(管理者自身、意識して取り組む)。病院のイメージアップ。看護師求人役に役立つ。
生活協同組合 コープえひめ	ホームページへの掲示。封筒への印刷。部内報への印刷。	子育て支援に取り組んでいる企業であることがお知らせできる。新卒学生採用活動において、仕事と家庭の両立ができる企業であることがアピールできる。
株式会社フジ	ホームページの採用情報や会社案内にくるみんなを掲載し、広報活動に利用。	くるみんなを掲載することで、弊社がワークライフバランスや女性の活躍拡大の推進に取り組んでいることがイメージできる。くるみんなを取得しようとしたことをきっかけにして、働きやすい職場環境を確立するため、現状の問題点を洗い出し、それに対する解決策を策定し、実施できた。